



メールマガジン「ユニバーサルひょうご通信」第135号  
発行：兵庫県ユニバーサル推進課 令和3年11月9日



紅葉の美しい季節になりました。行事も多く外出の機会が増える時期ですが、皆さまお元気でお過ごしください。  
それでは、ユニバーサルひょうご通信11月号をどうぞ。



【今月のピックアップ！】

① 「情報保障」ってどういうこと？

【手話カフェ】

② 手話をやってみたいと思ったら  
～手話のある世界によろこそ！～

【募集・イベント】

③ 障害者芸術「する・みる・ささえる」応援プロジェクト  
～作品展・発表会の開催を支援します～(募集締切 11/12)

④ 夢プロジェクトパラスポーツワールド2021Hyogo  
“あの感動を「見せる・聴かせる・魅せる」”

⑤ 障害者芸術オンラインセミナーの参加者募集(11/18まで)

⑥ ひょうご福祉事業所フェスティバル(12月11日・12日)  
～頑張る障がい者にエールを～ in 神戸ハーバーランド

【お知らせ】

⑦ 「兵庫県障害者アートギャラリー」11月の催し

⑧ ひょうご盲ろう者支援センターの移転

## 【ラジオ】

### ⑨ 「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」10月放送内容



#### ① 「情報保障」ってどういうこと？

先月の手話カフェでも「情報保障」について触れましたが、イベントや行事の多い時期ですので、改めて「情報保障」を取り上げます。

情報保障とは、障害のある方等が情報を取得するとき、障害のない人と同等の情報を得ることができるよう配慮を行うことです。

これは、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(以下、障害者差別解消法)に定める「合理的配慮の提供」(※)のひとつです。(※一番下に用語説明あり)

事業者の「合理的配慮の提供」も、5月の障害者差別解消法の改正で「努力義務」から「義務」になりました。(公布後、3年以内に施行)ですので、情報保障は企業や団体の皆さんにも関係があります。

イベントや行事では、実際にどのような情報保障を行うのでしょうか。視覚障害のある方への情報保障には、点字、拡大文字、音声コードの資料を作成したり、会場に点字案内を整備するなど複数あります。

では、聴覚障害のある方への情報保障はどうでしょう？

手話だけでしょうか？

「聴覚障害者はみんな手話を使っている」というのは、誤解です。ご自身が今、急に聞こえなくなると想像してみてください。手話は一から勉強しないと分かりません。ですので、元々聞こえていた方や難聴の方は、音声情報を要約して文字で表示する「要約筆記」や、補聴器の音をよく聞こえるようにするヒアリングループの設置を希望されることが多いです。つまり、聴覚障害のある方への情報保障にも、手話通訳者、要約筆記者、ヒアリングループの設置等、複数の方法があります。

障害の特性に合わせた配慮が必要ですので、イベントや行事の会場では、できる限り、参加者が希望される方法で情報保障を行っていただければと思います。

またこれらの情報保障は、障害者だけでなく、高齢者、外国人、子どもにとっての配慮にもつながります。

相手の立場になり寄り添うことがユニバーサル社会づくりの一步です。障害者の社会参加を推進するため、みんなで社会のバリアを取り除いていきましょう。

※「合理的配慮」の提供（内閣府 HP より）

障害者差別解消法では、行政機関等や事業者に対して、障害のある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応することを求めています。

---

## ②【手話カフェ】手話をやってみたいと思ったら ～手話のある世界によろこそ！～

---

もし、あなたが何かのきっかけで手話をやってみようかなと思ったら、まずは市役所や社会福祉協議会などに手話講座の予定を尋ねてみてください。

市町によって申し込み条件が異なりますが、通常、その市町に在住、在学、在勤の方であれば申し込める場合が多いです。

また、もし、長期間通うのは難しいなという場合は、兵庫県立聴覚障害者情報センターが、県内各地で、初心者対象の「はじめての手話講座」(1回講座)を開いています。手話の基礎を学んで聞こえない方と手話で交流できます。

学校や職場に聴覚障害者がいて、学校、職場のみんなで手話を学びたい場合は、兵庫県聴覚障害者協会からご希望の日程や内容に

合わせて来てくれる「出前手話講座」(1 回講座)があります。県が委託実施しているものは無料です。

目で見て伝え合うコミュニケーション。  
あなたもどうぞ！

■はじめての手話講座や、出前手話講座の詳細は、こちらの県ホームページをご覧ください。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/shuroushien/syuwa.html>

(兵庫県設置手話通訳者)

---

③ 障害者芸術「する・みる・ささえる」応援プロジェクト  
～作品展示・発表会の開催を支援します～(募集締切 11/12)

---

コロナ禍においても障害者芸術を推進していくため、障害者が創作した芸術作品を身近な地域で展示・発表できるよう、展示会・発表会の開催に必要な経費の一部を助成します。

◇補助対象者

障害福祉サービス事業所、障害者当事者団体、障害者の芸術文化活動の支援を主活動とする団体(※但し、令和 2～3年に県の障害者アートギャラリーで展示を行った団体等は除く)

◇補助対象事業

障害者が創作した作品であり、①絵画、書、写真、工芸品等を展示するもの、または②演劇、演奏等を発表するもの

◇補助対象経費

イベント開催経費、運送設営経費

◇補助件数

5件

◇補助額

対象経費の各区分につき 1 団体あたり上限8万円

■詳細はこちら(県 HP)

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/surumiru/hojokin.html>

■お問合せ

ひょうご障害者芸術文化活動支援センター

(兵庫県健康福祉部障害福祉局ユニバーサル推進課内)

TEL 078-362-4090 FAX 078-362-9040

Mail [universal@pref.hyogo.lg.jp](mailto:universal@pref.hyogo.lg.jp)

---

#### ④ 夢プロジェクトプラススポーツワールド2021Hyogo

“あの感動を「見せる・聴かせる・魅せる」”

---

東京2020パラリンピック出場選手をゲストにむかえ、あの感動をもう一度みなさんと一緒に！！

◇開催日

令和3年11月13日(土) 10:30~15:00

※参加申し込み不要です。当日会場までお越し下さい。

◇会場

神戸ハーバーランド umie センターストリート1階中央特設会場

◇プログラム

・パラリンピック競技デモンストレーション 7競技

(車いすバスケットボール・シッティングバレーボール・ブラインドサッカー・車いす陸上・ボッチャ・車いすラグビー・車いすテニス)

・パラストリートダンス 3団体

◇総合司会

荻野 恵美子

◇MC

ターザン山下

◇ゲスト 東京2020パラリンピアン

大矢 勇気 選手【陸上男子100m(車いすT52) 銀メダル】

菊池 智子 選手【シッティングバレーボール女子日本代表】

谷川 勇綺 選手【シッティングバレーボール男子日本代表】

◇参加料無料

※新型コロナウイルス感染症予防のため体験はできません。  
※来場の際は、マスク着用とソーシャルディスタンスのご理解とご協力をお願いいたします。

■お問合せ

(公財)兵庫県障害者スポーツ協会

TEL 078-362-3237 FAX 078-362-9040

詳しくは <https://hyogo-ssnet.com/>

---

⑤ 障害者芸術オンラインセミナーの参加者募集(11/18 まで)

---

障害者芸術に取り組んでいる団体や、これから取り組もうとしている団体を対象に、障害者芸術における利用者支援のポイントや方法を学ぶためのオンラインセミナーを開催します。

参加ご希望の方は 11 月 18 日までに、下記お問合せ先までご連絡ください。

◇開催日時

令和3年12月3日(金) 14:00~15:40

◇内容

「障害のある方のアート活動に必要なこと」

- ・ 創作活動(絵画)を支援する際の心構えやポイント等
- ・ 画材や技法等の紹介及び質疑応答

◇講師

特定非営利活動法人 100 年福社会片山工房

理事長 新川 修平 氏

スタッフ 川本 尚美 氏

■お問合せ

ひょうご障害者芸術文化活動支援センター

(兵庫県健康福祉部障害福祉局ユニバーサル推進課内)

TEL 078-362-4090 FAX 078-362-9040

Mail [universal@pref.hyogo.lg.jp](mailto:universal@pref.hyogo.lg.jp)

---

⑥ ひょうご福祉事業所フェスティバル(12月11日・12日)  
～頑張る障がい者にエールを～ in 神戸ハーバーランド

---

障害のある方々が心をこめて作ったクッキーやケーキ、アクセサリー、さをり織の小物、バック、野菜などを販売する「ひょうご福祉事業所フェスティバル」が、神戸ハーバーランドで初めて開催されます。

県内各地の社会福祉法人や NPO 法人が運営する就労継続支援 A,B 型事業所などが参加し、両日とも約 30 のブースにお店が並びます。皆さまのお越しをお待ちしています。

◇日時

令和3年12月11日(土)・12日(日)午前10時～午後3時

◇会場

神戸ハーバーランド スペースシアター  
(神戸ハーバーランドセンタービル地下1階)

■お問い合わせ

ひょうご福祉事業所フェスティバル実行委員会事務局  
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7  
神戸新聞厚生事業団内 TEL.078-362-7150  
E-mail:[k-kouseijigyou@kobe-np.co.jp](mailto:k-kouseijigyou@kobe-np.co.jp)

---

⑦ 「兵庫県障害者アートギャラリー」11月の催し

---

神戸市灘区の県立美術館王子分館「原田の森ギャラリー」内にある「兵庫県障害者アートギャラリー」では、12月24日(金)まで「どりー夢特別作品展 Space～こころの居場所～」を開催しています。

総勢30人で描いたパステル画で表題作の「Space～こころの居場所～」をはじめ、ショーケースいっぱいには並ぶ粘土細工の「街並み」、細かい仕掛けがたくさんある大きな立体作品「この木、何の木??」など、ふと作品の世界に引き込まれるような展示が揃いました。障害のある方々が、様々な表現手段を使い、自由な発想で描いた豊かな作品をどうぞご鑑賞ください。

■「どリー夢特別作品展 Space～こころの居場所～」

好評開催中です。

<https://hyogo-arts.or.jp/harada/exhibition/#2235>

---

### ⑧ ひょうご盲ろう者支援センターの移転

---

目と耳に重複の障害を持つ「盲ろう者」は、一人で外出することや、自分で情報を得ることが困難です。不便や困難を感じていても、何をしたいかわからないまま暮らしている盲ろう者の方がたくさんいらっしゃいます。

兵庫盲ろう者友の会が運営している「ひょうご盲ろう者支援センター」では、同じ障害の仲間の存在を知り、希望を持って生活することをサポートしています。具体的には、コミュニケーション方法を身につける学習、IT 機器の操作法の学習、点字学習、調理などの生活訓練、交流会などです。皆さんの周りに盲ろう者がいらっしゃったら、同センターのことをぜひお伝えください。

盲ろう者支援センターは、11月1日に下記に移転しました。

■特定非営利活動法人兵庫盲ろう者友の会／

ひょうご盲ろう者支援センター

〒652-0802

神戸市兵庫区水木通2丁目 1-9 中山記念会館 301

TEL 078-579-7601 FAX 078-579-7603

■ひょうご盲ろう者支援センター(ホームページへリンク)

<http://hyogo-db.com/>

---

⑨ ラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」

10月放送内容

---

■10月19日の放送内容

<ゲスト> 神戸芸術工科大学プロダクト・インテリアデザイン学科  
教授 相良 二郎(さがら じろう)さん

<テーマ>「まち(わたしたちが住んでいるまち)」

相良さんは、世の中の製品をその製品がある空間も含めて、誰にとっても便利で、快適に使えるデザインにすることを研究されています。

県では平成4年に全国に先駆けて「福祉のまちづくり条例」を制定。多くの方が利用する施設のバリアフリー化を義務づけています。

さらに来年4月から、一定規模以上のホテルや旅館の一般客室のバリアフリー整備基準を定め、新築等の際にバリアフリー化を進めていきます。車いす利用の方や、ベビーカーを押している方、スーツケースを持った旅行者にとっても使いやすくなります。

また、誰もが利用しやすい施設にするために、県ならではの「チェック&アドバイス」制度があります。障害のある方と建築士、福祉の専門家がチームを組んで、施設の設計段階や、作られてからの改善点をアドバイスするしくみです。

まち全体のバリアフリー化が進み、誰にとっても住みやすいまちになっていくといいですね。

番組後半は、兵庫県庁2号館1階の「ドリームカフェ」で販売している、兵庫県内の事業所で障害のある方が真心をこめて作った「手作り弁当」をご紹介します。

この日は、火曜日を担当しているNPO法人ドリーム&YUME(ゆめ)作業所(神戸市兵庫区)の「塩だれチキンステーキ」をスタジオ

の皆さんが試食。ひょうごユニバーサル大使の濱田祐太郎さんにも「塩だれが抜群ですね！」と好評でした。

詳しい放送内容は、ラジオ関西「ラジトピ」をご覧ください。記事と録音でお楽しみいただけます。

<https://jocr.jp/raditopi/2021/11/08/398682/>

■次回のラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」

11月16日(火)15時20分～15時40分

(ラジオ関西「PUSH!」内)

テーマは高齢者の社会参加と認知症者への支援(予定)です。

---

**【編集・発行】**

イベント情報や、メルマガの配信希望・中止等のご連絡は以下まで  
兵庫県健康福祉部障害福祉局ユニバーサル推進課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

TEL:078(362)4379 FAX:078(362)9040

Mail:universal@pref.hyogo.lg.jp

---